

「こんにちは」から始まる国際交流



かにえ国際交流友の会

Kanie International Friendship Association

会報 No.7 (April 2000)



12月12日 クリスマスパーティ

日本の常識って？

会長 棚橋 美知子



昨年10月にKIFAでドイツ人14名のホームステイを引き受けました。一人の女性の名刺に「経済学士」と書いてありました。多分、日本だとほとんどの人は、職業や会社名は書くも『経済学士』『商学士』とは書かないと思います。

12世紀以来、ハンザ同盟都市の商人はイギリスやバルト海沿岸での海上貿易により栄光をもたらした誇るべき存在でした。現代でもドイツ人は「商人」という職業名称に誇りを持ち、名刺にも書くというわけです。日本の常識が通用しないことを実感しました。

今後、KIFAに来てくれる外国人をもっと理解するためにも、出来ることならその方たちの母国を訪ね、その地域の人々との交流を、21世紀に向けて考えていきたいと思っています。

今年も皆様の積極的な協力をお願い致します。

異文化を理解し合う国際交流

蟹江町長 佐藤 篤松



かにえ国際交流友の会(KIFA)発足以来、今年で8年目を迎えられたこと、心からお慶び申し上げます。

日ごろ、会員の皆さまには、国際交流事業を推進していただき、心より感謝と敬意を表します。

さて、近年では環境問題など世界規模の問題に注目が集まっています。そういった問題を解決するためには、まず、自分の住む地域での国際交流が非常に重要なものになってきます。異文化をお互いに理解し、助け合う心を養うことによって、蟹江町はもちろん、世界がよい方向へと向かっていきます。

最後になりましたが、かにえ国際交流友の会の更なる発展と、会員の皆さまのご健勝をご祈念申し上げます、ごあいさついたします。

ドイツ人との一期一会

磯部 恒子



筆者にお香入れの説明をうけているウテさん

10月9日午前10時「清風萬里秋」の掛け物をかけてお待ちする間もなく、玄関で賑やかなお声「オー、ビューティフルガーデン」戦中派の私でもこれ位なら解る英語が飛び込んで参りました。幸いな事に夜来の雨に洗われて、木々も苔も青々とお目に映ったのかも知れません。こうしてドイツからの賓客クリスタさんとウテさんを我が家の狭い稽古場へお迎えして、お茶を差し上げる事になりました。

棚橋会長はじめKIFAのメンバーも一緒に、さすがに国際交流のベテランの方々で、私や稽古場の者にも自然体で和やかにお話下さり、いつの間にか世界は一つ、心に国境はないと言われていたことが実感出来た至福のひとつとまでございました。

陽気なドイツのご婦人は好奇心旺盛で棚橋会長のお持ち頂いた水引き草と紫蘇の花で花所望をして、炭点前、薄茶とお目にかけてのですが、それぞれにご質問頂き私の方がたじたじする位、日本の事、茶道の事などよく勉強していらっしゃるのにはびっくり致しました。中国の竹で作った茶杓に「千里同風」という銘をつけて楽しんでいるのですが、それを使いましたら、会長のご説明でお判りになったご様子で、うんうんと頷いておられました。「日本はエキゾチックな国と思って見てきましたけれどやはり世界と何処かでつながって今の日本の文化があるのだと判りました」と、これはドイツへお帰りになってからのご丁寧なお礼状の中の一節です。

「閑達待佳賓」大事なお客様をお迎える時の緊張感と、わくわくする期待感が溢れて私のとても好きなお軸の言葉なのですが、皆様のお蔭で思いがけず素敵なお客様との一期一会を頂きまして、誠にありがとうございました。

秋の養老の滝へ

鈴木 初子

“エキサイティング”初めてのホストファミリーを体験した我が家の反応です。

最初、歓迎会でマルクスに会った時、私たちの息子位の年代でもあり、果たしてうまくやっつけられるかなとチラと思いましたが、彼の配慮と私も外国人と話をするのが好きですので、終ってみると色々なことを話し合い、打ち解けることができました。

特に7才の孫(男)は、彼に足首をつかんで逆さ吊りにされたり、振り回されたりするとキャッキョッと喜んで、遠来の客のことを学校で友だちに吹聴したほどでした。

彼は、独日協会の一員でハンブルグ領事館の日本語クラスに通ったこと、日本に関心を持ったのは財閥に興味を抱いたのが始まりと、いかにもビジネスマンらしい感想でした。

連日の遠出の後でしたので、私たちは彼をゆったりと養老へ案内しました。滝の前でしぶきが木々の中に

舞い、陽の光に透けて見えるのが気に入っていました。

帰り道、養老の義弟の家に立ち寄り、庭のテーブルで義妹手作りのシュークリームをいただきながら、美しい秋の養老の山並を楽しみました。

教師をしている義弟が、学校の授業に役立てるからとゴミ等の環境問題についてたずね、彼の英語を私が皆に日本語で伝えられた時は、本当に報われたひとときでした。

息子は10年前高校生の時、ユースプログラムの一員としてドイツを訪れました。南部での野外活動(カヌー、フライングフォックス、岩登りなど)やラインベアグ市近郊の小さな町でホームステイをしました。その時のホストファミリーの親切に少しでもお返しをしたいとの思いから、今回の役をお引き受けし、家族全員の協力で無事彼を早朝のJR駅のプラットフォームで見送ることが出来ました。お互いに色々学ぶことがあった出会いだったと思います。



養老の滝を背にマルクスと筆者のお孫さん

日本古来の結婚式を紹介

鈴木 ツタエ

結婚式も国によっていろいろです。日本古来の結婚式をハンブルグの方に見て頂く機会が出来、飛鳥のあるお宅にお誘いしました。

近所の人達でいっばいの中を30分程遅れて花嫁さんが到着。皆さんに見ていただく為に20メートル程離れた所から花婿さんと、仲人さんに手を引かれた花嫁さんが歩いて家に向かわれます。ハンブルグの方達も「きれい、すばらしい」と言いながらシャッターを押していらっしゃいました。

花嫁さんが家に入ったことを確認して、菓子投げが始まります。(今回は7種類の菓子を袋詰めにして手渡し)

色打ち掛けで縁側から入り、白無垢に着替えて仏壇に報告。日本の女性に生れ、その美しさを最高に引き立ててくれる花嫁衣裳を身にまとった姿を見た時、感慨深いものが込み上げてきます。

最近、田舎でもこうした行事が少なくなってきました。ハンブルグの方々はその一コマを見ていた

けた事は幸いでした。



花婿、花嫁と記念写真(左端が筆者)

バイタリティあふれる女性クリスタ

杉野 弘行

昨年10月上旬、かにえ国際交流友の会からホストファミリーをお引き受けし、1人の若いご婦人(クリスタさん)がわが家へやってきました。

オーストリア生れの彼女は、気さくな明るい人柄で、日本語は全くダメでしたが、母国語のほか英語・フランス語・スペイン語を使いこなします。たまたま次女がスペイン語ができましたので助かりました。

わが家とJR蟹江駅の道順は一度だけ案内しましたが、夜道にひとり帰宅したこと、時間はキチンと守ること、目的地までの鉄道の利用方法を詳しく調べるなど彼女のバイタリティに驚きました。彼女ならベストセラー「地球の歩き方」を片手に「80日間世界一周」ができるでしょう。

帰国2日前の休日は彼女と私ども家族にとっての



筆者のお嬢さん二人とクリスタ

ハイライトでした。長女が友達の結婚式のため近くの着付教室へ行く際に、彼女も一緒について行き「自分も着てみたい」と言いました。

幸い、先生が快く引き受けられ見事な振り袖を着付けして下さい、派手やかないでたちで蟹江町民祭りへのお出ましとなりました。公民館では彼女に視線が集中、写真攻めに合い、付き添いの私もでれくさく思いました。

他方、私たちから見ると自分勝手なところもありました。マルク換金の際、シティバンクで「日本の銀行は土・日曜日はどうして営業しないのか」と抗議するので案内した次女も行員も困ったそうです。着付けの時間予約も自分の都合中心で順番はおかまいなし、また一人で金沢へ行きたいと言いだしたり、と本当にやきもきさせる人でした。

彼女とは短い期間のお付き合いではありましたが一言で申しますと、自己主張の強烈さが印象に残りました。ただ、これは自分の主張をはっきりと言い、自分と違う意見でも納得すればそれに従い、約束も確実に守ることからわかるように、自分勝手というのは私どもの偏見だったかも知れませんが、逆にいいところかも知れません。

彼女が帰国してから半年が経ちますが、家族の誕生日にはメッセージと豪華な誕生日プレゼントやクリスマスカードも送ってくれ、ちょくちょく電話もしてきます。少しだけのお付き合いであっても礼儀を忘れない人間性に家族ともども感激しているところがあります。

これを機会に、ハンブルグ・蟹江の小さな懸け橋になれば幸いです。

行事の足あと

楽しかった世！おいしかった界！すばらしかった輪！



▲ 4月18日 総会
三六さんのご指導でうどんづくり
不揃いでしたが、とてもおいしくできました。



▲ 5月9日 ボーリング大会
ストライク！
ヴィタリーさんかっこいい。



▲ 7月18日 料理講習会
初めてのミャンマー料理。
とてもスパイシーでした。



▲ 6月27日 若松部屋すもう教室
はっけよい。中国 劉預さんと朝の若の一番勝負



▲ 8月8日、9日 蟹江町納涼フェスティバル
 ブラジル風串焼、今年も大好評でした。
 売上げ134,470円はドイツ国際平和村へ送ること
 になりました。



▲ 10月10日 町民祭りのフリーマーケットに参加
 売上げ107,426円。ご協力ありがとうございました。
 トルコ、台湾地震の被災地へ送らせていただきました。



▲ 10月11日 ドイツの人達の歓送会
 ドイツの皆さん着物でご満悦！



カット 大島



▲ 12月12日 クリスマスパティー
 各国の料理を持ちより舌鼓み



▲ 2月6日 バングラデシュと中国の方の
 さようならパーティー
 さようなら お元気で また会いましょう。

転勤で引っ越ししたおともだちへ

အကူအညီအားဖြင့် အသုံးပြုနိုင်ပါသည်။

お元気ですか？新しいところでちょっとは慣れたでしょうか。

仲良しの友達ですがお話しする時間があまりなかったので、手紙を書きました。ミャンマーの食べ物が大好きだった友達へ。

4月になるとミャンマーのお正月まつりがあるので、私もいろいろ準備に忙しくなりそう。ミャンマーでは4月12日から4月15日まで、みずまつりが朝から夕方まで行われます。

その間にあちらこちらの道端で、おもち、だんご（中に黒砂糖入り）とココナッツ、かんてんとお魚のすり身団子が入っているはるさめスープを時間限定でご馳走します。そのときは誰でもお客さんになれます。

それから4月16日の日曜日は、ミャンマーではお正月の一日です。お正月の日は大仏さんやお寺などのお釈迦さんへ、お花、くだもの、ろうそく、線香を飾ってお祈りします。

それから自分の住んでいる公民館にお年寄りを招いて頭を洗ったり、つめを切ってあげたりします。あと夕方になったら、お坊さんたちを呼んで今年もいふうに、元気ががんばれるようにお祈りします。



ミャンマーのおまつり

蟹江で5年たって蟹江人になりました。いい友達がいっぱい出来てよかったです。あなたも新しいところでがんばってください。最後に蟹江弁で一言『あのよーこの前送ってきたあの洋ナシおいしかったで、また送ってちょよ。』

☆ミャンマーの干支

| | | |
|--------|---------|-----------|
| 日曜日 とり | 月曜日 寅 | 火曜日 ライオン |
| 水曜日 象 | 木曜日 ねずみ | 金曜日 モルモット |
| 土曜日 亀 | | |

まつ毛も凍るカルガリーから

犬飼 薫

KIFAの皆さんこんにちは。私は、今カナダのカルガリーに住んでいます。主人の定年を機に定年後の人生をカルガリーで暮らすことになりました。

親類の者がアメリカ、カナダに日本の食器の販売を広げ、この度カルガリーにオープンする店を私達夫婦に任せられました。英語は全くと言ってよいほどできませんが、知っている限りの単語とBody-languageで頑張っています。

皆様はカルガリーをご存知ですか。つい先日スピードスケートのワールドカップをしていたところで、1988年冬季オリンピックが開催されました。人口は約100万人、アジア系がその10%、日本人は2000人と聞いています。カルガリー近郊で石油が発掘されたことで、人口はどんどん増えているそうです。

またカルガリーはロッキー山脈に近くバンフ、レイクルーイズ、ジャスパーなどの観光地の玄関口で、5月～9月頃には多くの日本人が観光に訪れます。

こちらは今、雪で一面真っ白です。大雪が降るといふのでなく細

かなサラサラの雪でなかなか溶けず、その上にまた降るといふ具合で20cmくらい積もっています。気温は-15度C前後、寒いと感じるのは-20度C以下(体感温度-25度C)になっている時です。まつ毛や鼻の中が凍るような感じがします。しかし部屋の中に入れば20～25度Cに保たれ半袖で過ごせ、毛布1枚で眠ることができ、とても快適に暮らせます。ただひとつ困っていることは、乾燥が激しく静電気、パチパチ火花が飛びたいへんです。



アパートの前で

食べ物に関しては、日本食材は結構そろっていてお米（こしひかり）は約10kg 1300円位、豆腐、納豆、ちくわ、かまぼこ、のり、うどん、調味料など値段は少し高めですが、ほとんどそろっています。日本食レストランもたくさん有り、お刺身、お寿司、天ぷらなど日本とかわらないくらいおいしいです。

こちらに来てまだ3ヵ月、お店と家の往復だけでカルガリーの街をよく見ていません。雪が溶けたら足をのばしていろいろ見に出かけようと思っています。ではまた。

価値ある国際交流の場 KIFA

吉川 誠



かにえ国際交流友の会に入会させて頂いて、三年が経ちました。この間の様々な活動を通じて、一番感心したことは、役員の方々を中心に日本人会員の方々が、忙しい中、献身的に活動されている点であります。蟹江町と連携をとりながら、会を円滑に運営されている点

についても、すばらしさを感じております。

私たちも、日々の仕事においては、お互いの利害関係の中で人と接する機会が多く、全く利害の伴わない人間関係をつくることは、難しいのが現実だと思えます。そういった環境の中で、蟹江町在住の外国の方々和私たち日本人とが、純粋に交流する場をもつことができることは、非常に有意義なことであると思えます。

特に、海外から来日され日本で生活し、そこで私

たち日本人と接する、その接した印象が帰国された後の日本人に対する印象や理解につながっていきます。そのように考えると、私たちがこの会を通じて交流の場をつくって頂いていることは、非常に価値のあることだと思います。

そうした中で私も妻と二人の子供と参加させて頂いており、特に片桐銘木に勤務されている中国の方々とは、よくコミュニケーションをとるようになりました。彼等は20代半ばから30代半ばで、通常三年間の日本での研修を経て帰国されます。妻子のある方も多く、異国の地で真剣に仕事に取り組みされている様子を感じ取り、彼等の人間性・純粋さを理解出来ました。

彼等もまた職場以外で日本人とコミュニケーションをとる場をつくりたいとの希望をもっており、この会での交流を楽しみにしています。日本にいる限られた期間のなかで、少しでも彼等の思い出となるようなことができれば幸いであると考え、活動に参加させて頂いております。

MAGANDANG ARAW! AKO PO SI AYA KOBAYASHI

(こんにちは！私は小林 彩です。)

小林 彩

フィリピンのマニラからまいりました。日本人と結婚してもう5年になります。主人と結婚するとき私の母が、ちょっとしんぱいしました。「こんななまきむしで、おっちょこちょいのあなたが日本に住むなんて大丈夫ですか」ってきかれました。私は「がんばりますので大丈夫だとおもいます」と言いました。

やっぱりはじめのころはちょっと大変でした。ことばはあまりつうじないし、日本りょうりもつけれないし、ともだちもちかくにいないし、相談する人はいませんでした。まいにちのようになていました。でも主人がいっしょうけんめいりかいしてくれて、りょうりの本もたくさん買ってくれました。昼間は一人でさみしかったからしごともさがしてくれました。今はもうさみしくないよ、りょうりもぜんぜん大丈夫です。

「日本語しゃべろう会」をはじめたのは、2年半ぐらい前でした。当時私はにんしん8ヶ月で出産のためしごとをやめました。家でひまでしたから、おともだちにチュウオウコウミンカンへさそわれました。私が日本語をべんきょうしたいといったらタナハシ会長がじどうかんの日本語クラスへあんないしてくれました。

そこでは私と同じ外国人たちがたのしくべんきょうしています。すぐみんなとおともだちになりました。それから子供を出産してだきながらかよっていました。まいしゅうたのしみにしています。

私の場合は漢字のよみかたとかきかたを中心に先

生がやさしくおしえてくれました。ひらがなとかタカナもおしえてくれますよ。日本の文化や社会のこともはなし合います。先生たちに相談もできるからすごくうれしいです。

KIFAのいろんな活動にも参加させて頂いてほんとうにうれしくおもいます。

「あなたたちもぜひ参加していっしょにべんきょうしましょう！」

(KAYO RIN, SUMALI KAYO SAMA-SAMA TAYONG MAG-ARAL)
今すこしずつ漢字をよめるように、そしてかけるようになったのでほんとうにみなさんにかんしゃしています。2才の子供にも絵本をよんであげられるようになりました。家でも主人が日本語のたのしいつかいかたやししゃべりかたをおしえてくれます。

休みの日に家事をてつだってくれて、いつもなかよく大事にしてくれているのでほんとうによかったとおもいます。日本の生活もだいぶなれてますので、冬のさむさも大丈夫です。

これからもKIFAの活動にさんかしつづけていきたいとおもいますので、おうえんしてください。

KEEP UP THE GOOD WORK & MABUHAY!!!



KIFAの皆さんこんにちは!



—バン格拉デシュからの便り—

ジョビウラ・シジキ



私としてはとても悲しい事ですが、2月16日にバングラデシュに帰国しました。

日本滞在約9年間の中の7年を、KIFAと交流を持ち、相撲教室、バーベキューパーティ、盆踊り、ボート大会等に参加するチャンスを得た事は、とてもラッキーでした。また、そこで世界の色々な所から来た人々と、友だちになることも出来ました。それらは私にとってすばらしい経験でした。

日本滞在中に親切にいただいたKIFAのすべての人々に感謝の気持ちで一杯です。機会がありましたら、私のゲストとしてバングラデシュをご訪問下さい。

最後に、かにえ国際交流友の会が日本の人々とバングラデシュの人々の懸け橋となり、交流を深めて頂くようお願いします。

SAYOUNARA, ARIGATOU!

—ドイツ・ハンブルグからの便り—

団長 マルクス・シューマツハ

皆さん、お元気ですか。蟹江でホームステイをしたメンバーも元気で寒い冬を過ごしています。

日本で過ごした日々、その中でも蟹江での印象はとてもgoodでした。我々はあなたがたの町でとても楽しく過ごし、去る時はとてもつらいものでした。またKIFAが我々に示して下さった親切や厚い友情に対し、お返しするのはたやすいことではありません。我々はとてもいい友人となり、きっと多くの方はドイツか、日本で再会することになると思います。



Wir kamen als Fremde,

und gehen als Freunde. Tschüss!

我々は見知らぬ旅人としてやってきた。

そして友として帰っていく。さようなら!

あとがき

今回の会報の原稿を、KIFAのイベントに関わってくださった方々にお願ひしましたところ、それぞれ楽しいエピソードに思い出の写真を付けて下さいました。海外からの手紙もあり、懐かしく読んでいただけただけなのではないでしょうか。皆様のご協力に感謝致します。(ひ)

企業会員 (ご協力ありがとうございました。)

| | | | | |
|------------------------|---------|-------|---------|----------|
| ㈱ 蟹江住宅設備 | ㈱ アイエス | 日光鋳工場 | | |
| 賛助会員 (ご協力ありがとうございました。) | | 丸信製粉㈱ | もへの寿司 | |
| ㈱ 八幡製鋳所 | ㈱ 若菜 | 松岡豊泉閣 | ㈱ フミン加工 | 蟹江広寿司 |
| ㈱ 東海興業 | ㈱ みずほ園芸 | ㈱ 松はま | ㈱ たちばなや | ㈱ 片桐銘木工業 |
| ㈱ 共同建設 | 観音寺 | 高坂英次 | 山田建設㈱ | ㈱ 宮長食品 |
| 月星歯科クリニック | 山本美代子 | 佛光寺 | 山田栄子 | 松屋 ㈱ |

2000年度 総会のご案内

時：2000年4月23日(日)

午前11時00分

所：蟹江中央公民館分館3階

●現在の会員数

・個人 113人 ・企業 3社 ・賛助 22人

かにえ国際交流友の会

事務局 蟹江町役場 企画課

〒497-8601 愛知県海部郡蟹江町大字西之森字長三郎2

TEL(05679)5-1111 FAX(05679)5-9188